

【添付書類】

様式第9-1号

賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等（個人：法人以外）

年間の農作業従事日数を記入

記入例

整理番号		氏名又は名称	晴国 受け手		年齢	45	農作業従事日数	200日			
賃借権の設定等を受ける土地の面積 (A) m ²		賃借権の設定等を受ける者が耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積 (B) m ²		賃借権の設定等を受ける者の主たる経営作目 (C)		賃借権の設定等を受ける者の世帯員の農作業従事及び雇用労働力の状況 (D)		賃借権の設定等を受ける者の主な家畜の飼育状況 (E)		賃借権の設定等を受ける者の主な農機具の所有の状況 (F)	
記載注意(2)参照 今回、借り受ける面積を記入		↑		記載注意(2)参照 現在の作目を記入		記載注意(4)参照					
農地	5,000	農地	35,000	男	1人	主たる従事者	2人 (2人)	0人日		トラクター	1
採草放牧地				女	1人	主として農業に従事する者	(人)			田植機	1
その他						その他の従事者	(人)			コンバイン	1
		今回、借り受ける面積を除く現在の耕作面積を記入更新の場合は(A)を含め、余白に「(A)を含む」と記入		水稻 麦 野菜		特になし		地域の農業における他の農業者との役割分担の状況 (H)		地域の取決めを遵守する	

(記載注意)

- 賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等（以下「本書類」という。）中、いずれかにその添付があれば、他は本書類を添付しない。
- (A)欄は、同一公告に係る促進計画書中に複数の賃借権の設定等がある場合には、それぞれを合算して面積を記載する。なお、「その他」には、混牧林地、農業用施設の用に供される土地、開発して農用地又は農業用施設の用に供される土地とすることが適当な土地の別にその面積を記載する。
- (C)欄は、主たる経営作目を「水稻」、「果樹」、「野菜」、「養豚」、「養鶏」、「酪農」、「肉用牛」、「施設園芸」等と記載する。
- (D)欄の「主たる従事者」とは、自家農業労働日数が年間おおむね150日以上（自家農業労働日数が年間おおむね150日に達する者がいない場合は、その行う耕作又は畜養の事業に必要な行うべき農作業がある限りこれに従事する者）を、「その他の従事者」とは、主たる従事者以外でその農作業に従事する者をいう。
- (H)欄は、耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められない者である場合に記入する。

周辺農用地への日照や水利、農業などの影響の有無。影響が見込まれる場合はその内容を記入

記載注意(5)参照
地域農業の組織、農道・用排水路等の管理や鳥獣被害対策等について記入